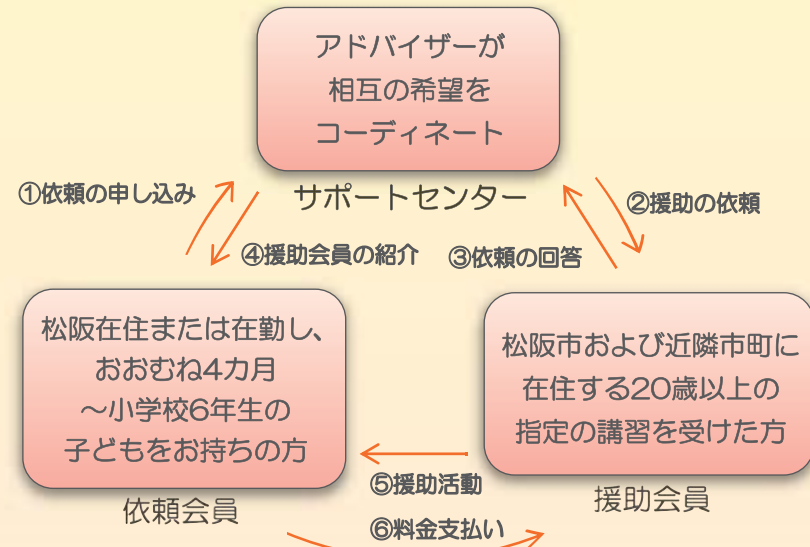


～ まつさかファミリーサポートセンターのしくみ～



★1時間の利用料金★

★援助開始3時間前までに依頼があった場合★	
平日 7:00～19:00	700円
平日の上記以外の時間・土日祝日	800円
年末年始（12月29日から1月3日）	1,000円
★援助開始まで3時間を切った場合・軽い病児・病後児★	
平日 7:00～19:00	1,000円
平日の上記以外の時間・土日祝日	1,200円
年末年始（12月29日から1月3日）	1,400円

★1回あたりの宿泊の利用料金★

22:00～6:00（連続8時間）	5,000円
年末年始の同じ時間（12月29日から1月3日）	7,000円

お早目の
お申し込みを！

映画『happy-しあわせを探すあなたへ』

日時：平成26年2月9日（日）

①10:30～ ②13:30～ ③18:30～

場所：農業屋コミュニティ文化センター
（旧名：松阪コミュニティ文化センター）

参加費：大人1,000円
子ども（小学1年生以上18歳以下）700円
★当日200円増



『あなたの子育て応援します』

10周年記念号
2014年2月（第21号）

ファミサポ ホットタイム

発行元：まつさかファミリーサポートセンター

まつさかファミリーサポートセンターを開設して平成25年12月で10年を迎えることができました。これ
もひとえに関係者の皆様のご尽力によるものと考えておりますが、特に援助会員の皆様におかれま
しては、急な援助の依頼にも快く応じていただき、本当に感謝いたしております。核家族化や地域におけ
る人間関係が希薄化してきているとよく言われますが、子育てに困ったときにお互いが気軽に助け合え
るような地域の輪を少しでも広げていければと考えておりますので、引き続きご協力を賜りますようよ
ろしくお願い申し上げます。

松阪市長 山中 光茂

まつさかファミリーサポートセンター事業を松阪市から受託して10年になりました。この間たくさんの
方々のお力添えをいただきましたこと、心より感謝いたします。この事業は、希薄になっている地域の人
間関係の中で孤立しがちな子育ての状況を踏まえ、「おたがいさま」の関係をもう一度作り、地域の中で
子どもに寄り添う人を増やしていくことを目的に、(特)松阪子どもNPOセンターの子育て支援事業とし
て取り組んできました。

援助内容としては、保育園・学童への送迎や迎えの後1時間程度の預かりが設立当初から変わらず大
変多く、支援と支援のすき間を埋めている事業だと実感しています。10年間の変化としては、ひとり親の
依頼会員の増加や1歳未満の子どもの援助依頼の増加があげられ、仕事と子育ての両立やリフレッシュ
が必要である子育ての現状がうかがえます。また、依頼会員は増加の傾向にありますが、援助会員がそ
れに追いつかない状況です。特に嬉野・三雲地域ではかなり不足しているため、シニア世代に働きかける
など開拓が急務です。

これからも地域の中で子どもを主体とした支援をしていくために、研修を重ね支援の質を上げていくと
ともに、とぎれのない支援ができるよう関係機関と連携をとっていきたいと考えています。

特定非営利活動法人松阪子どもNPOセンター
理事長 塩谷 明美

まつさかファミリーサポートセンターは（特）松阪子どもNPOセンターが松阪市より委託を受けて運営しています



平成25年度ステップアップ講座と交流会

<ステップアップ講座>

日 時：平成26年 3月8日（土）13:00～15:00
場 所：松阪市市民活動センター（松阪市日野町788） 大会議室
内 容：「子どもの心に寄り添う」
講 師：河合卓子さん（特）みえ親子・人間関係研究会代表

<交流会>

日 時：平成26年 3月8日（土）15:10～16:40
場 所：松阪市市民活動センター（松阪市日野町788） 大会議室
内 容：グループトーク（お茶・お菓子を食べながら交流しましょう）

まつさかファミリーサポートセンター

〒515-0043 松阪市下村町1115（特）松阪子どもNPOセンター内
TEL/FAX 0598-60-1820
E-mail mfsc@mknpo.jp
ホームページ http://www.mknpo.jp/mfsc/
開 所 時 間 月曜～金曜 8:30～19:00

まつさかファミリーサポートセンターの10年

開設から講師をしていただいている先生からの一言

食べることは生きること！

元三重中京大学食物栄養学科教授 馬場啓子

「まつさかファミリーサポートセンター」開設10周年おめでとうございます。

ファミリーサポート援助会員養成講座で「子どもの栄養と食生活」を担当させていただく中で、私は、今日の一口が明日の自分をつくること。皆で一緒においしく楽しく食べることが子どもの社会性を育み、生きる力に繋がること、そして、子どもの時からの適切な食生活が大切であるということを伝えてきました。

毎回、額しながら聴いていただいた会員の方々やスタッフの皆さんとの絆に支えられ、10年間続けることができたことに心から感謝しています。

近年、私達の食生活は、バランスの偏った食事や不規則な食事の増加、生活習慣病の低年齢化、自給率の低下、「食」の情報の氾濫など様々な問題が生じています。また、子ども達をとりまく環境も多様化してきています。

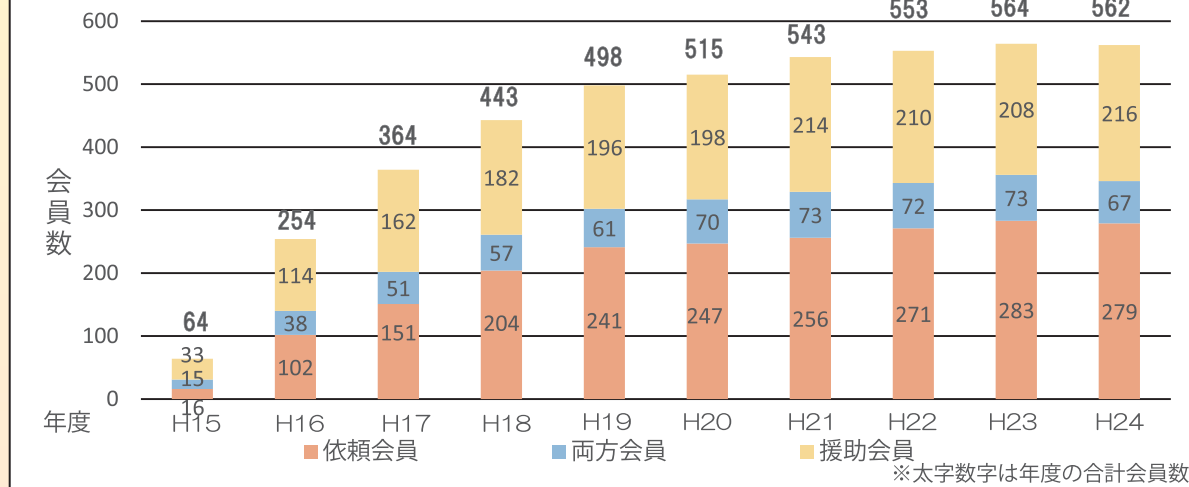
子どもの成長は個人差が大きく、子育て中には、偏食や食物アレルギーなど食に関する問題に戸惑いや不安を感じることも多々あります。それだからこそこのような子育ての不安を少しでも和らげサポートしていく体制づくりと地域の連携が何より必要だと思います。

特に、食事の摂取が受動的な乳児期から幼児期は、摂食機能や消化機能の発達に伴って食事摂取方法がどんどん変化していくため、まわりの大人の適切な対応が不可欠なのです。

三重は美味し国といわれ、海の幸・山の幸に恵まれた食の宝庫であり、古くから受け継がれてきた食文化を享受できる所です。しかし、最近、郷土料理や行事食が伝承されにくくなってきています。次世代を担う子ども達に身近なところからこの地域の良さを伝えていきたい。「食することなんて…」ではなく「食することこそ大事!」なこと。「食」は人に良いこと。「食」を通して五感を同時に刺激することで総合力を育てて欲しいと思っています。そして、この事業が地域に浸透し、子育ての絆と支援の輪がますます大きく広がっていくことを心から願っています。

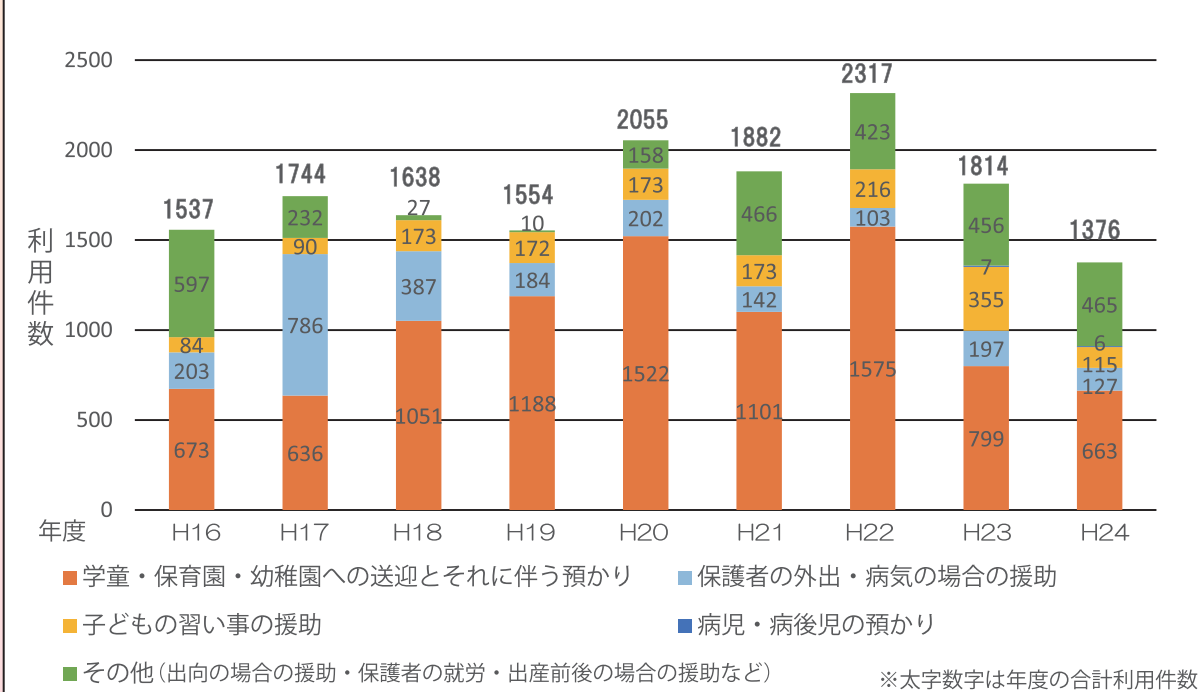


会員数の推移



会員数は年々増えており平成25年12月末で586名になりました。援助会員は年2回行っている養成講座を受講し、年間30名程度登録されています。依頼会員は毎年70名程が入会し、保育施設入所や子どもの成長に伴ない援助の必要がなくなった方が60名前後退会しています。共働き世帯が増え残業や休日出勤時の援助や、軽い病児や病後児の援助を必要とし入会するものの、利用のない方も多く見られます。また、核家族化や近くにいても頼れる方がなく、もしもの時の為に入会される方も増えています。入会しマッチングすることで援助会員の存在に安心されるようです。

援助内容と活動実績



活動は平成16年度からはじまりました。依頼内容としては、この10年間変わらず多いのが学童保育や保育施設への送迎やそれに伴う短時間の預かりで、利用件数の半数を占めています。平成20年度22年度は総利用件数が2000件を超えましたが、これは毎日朝夕の援助が必要なケースが複数あったためですが、平成22年度に比べて活動件数が減少しているのは、それらの援助が少なくなったためです。新たに平成23年度より「軽い病児や病後児の預かり」「緊急時預かり」「宿泊預かり」を実施することになりました。この数年は、一人親の入会が増えています。さらに平成24年4月より松阪市のひとり親世帯への援助活動費の補助制度が始まったことで、より利用しやすくなりました。

当時の援助活動をふりかえって

●小川利恵さん(依頼会員)

三つ子一人一人に向き合う余裕がない日々の中、援助会員さんに、お風呂上がりのお世話やご飯を食べさせてもらっている間に買い物に出かけ次の食事の用意をすることができました。私より援助会員さんになつく程、精一杯接してくださり有難く、心強かったです。来て頂いている間に、時には夫と外出をしてリフレッシュでき、新たな気持ちで育児に向き合えたおかげで今があると思います。家にこもりがちだった私の話し相手にもなってくれて、来てもらうのが楽しみでした。子どもたちは今でも「朝ちゃん」を覚えていて、出会えてよかったです。また、『ファミリーサポートセンター』として状況を理解し、心に寄り添ってもらえて助かりました。

●西山朝子さん(援助会員)

三つ子ちゃんにごはんを食べさせたり、お風呂上がりの世話をするという援助内容でお母さんと一生懸命2時間過ごしました。充実していましたしやりがいがありました。よくなつてくれましたので成長を見るのも楽しみでした。今でも携帯電話には当時の三つ子ちゃんの写真があります。時々「どうしてるかな?大きくなったかな?」と思い返して眺めています。本当に楽しく濃密な時間(援助活動)でした。

